

災害 そのとき どうなるの?? 水の備蓄・災害時の給水

問 水道課給水業務係 ☎95-9914

市では、県の浄水場から送られてくる水を市内の配水場で一旦受け取った後、市内全域に水道水として届けています。この配水場で震度6以上の地震（揺れ）を感知した場合、緊急遮断弁が閉まることがあります。緊急遮断弁が閉まると市内全域で断水になります。市内への給水は、配水場に確保した水により応急給水を実施しますが、応急給水の開始には一定の時間がかかります。



ホームページID
5260



家庭で水を備蓄しましょう

生命維持のための必要最小限の水は、1人1日3ℓとされています。災害時に備え、飲料水は最低でも3日分の備蓄が必要と言われていましたが、近年では大規模災害時対策としては7日分が必要と言われています。災害時にも取り出しやすい場所の数か所に分けて保管しましょう。

水道水を、清潔なポリタンクなどで直射日光が当たらない風通しの良い場所で保管した場合、飲料水としての保存期限は3日間が目安です。それ以降は、トイレなどの生活用水として利用してください。飲料水として備蓄する3ℓに生活用水は含まれていません。飲料水とは別に生活用水も備えましょう。

災害時の給水

道路の被災状況などから水を運搬可能と判断した場合、配水場に確保した水を市内7か所の避難所へ順次運搬します。1人1日3ℓまで受け取れるので、給水袋、ペットボトル、ポリタンクなどの水を入れる容器を準備しておいてください。発災後4日以降をめぐに幹線配水管及び配水池の状態、道路復旧や応援人員などの状況により可能であれば応急給水栓からの給水も開始します。発災から15日目以降をめぐに県からの送水が再開される見込みです。送水再開後、市は通水確認などを行い、破損した水道管を順次復旧していきます。

災害時の応急給水については、市ホームページを確認してください。



令和2年度寄附金額 県内上位10自治体と 近隣市町の順位

順位	自治体名	金額 (百万円)
1	碧南市	2,965
2	幸田町	2,708
3	大府市	1,701
4	小牧市	1,056
5	犬山市	771
6	名古屋市	735
7	愛知県	623
8	東浦町	618
9	西尾市	597
10	蒲郡市	422
17	岡崎市	122
18	豊田市	117
24	安城市	93
26	高浜市	75
27	知立市	71
37	みよし市	29
52	刈谷市	4

総務省発表によると市へのふるさと応援寄附の実績は、26年度2億円、27年度6億3千万円、28年度5億7千万円、29年度5億5千万円、30年度7億4千万円、令和元年度20億7千万円、2年度29億7千万円であり、県内全38市中7年連続1位、県内全54市町村中でも、2年度は5年ぶり

市では、職員からの提案もあり平成26年9月から西三河で一番早く、返礼品付きのふるさと応援寄附金制度をスタートさせました。
ふるさと応援寄附とは、個人が応援したい自治体に寄附した場合、2千円を超える部分について、一定の限度額まで所得税、県民税、市民税を合わせて全額控除される仕組みです。

令和2年度の市ふるさと応援寄附は約30億円
県内全54市町村中で5年ぶりに1位 7年間の累計は約77億円

C・S
敬天愛人
碧南市長
植田政信

の1位となりました。2年度までの7年間の累計は約77億円に上ります。また、寄附件数は、26年度1万4千件、27年度4万3千件、28年度3万5千件、29年度3万6千件、30年度4万8千件、令和元年度11万5千件、2年度18万4千件であり、これは県内全54市町村中7年連続1位です。
令和2年度は前年度に対し、約9億円の増（+43%）という結果ですが、この理由としては、パートナー企業の皆様を中心に市担当とともに工夫を重ね、返礼品目数を約660品まで増やした（令和元年度末は約400品）、新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごもり需要の拡大及び節約志向の考えが広がる中で、市の返礼品がそのニーズにマッチした点、またそもそもふるさと納税を利用する人が全国的に増えている点などが考えられます。人気返礼品は、お米、ナッツ、うなぎ、甘栗、トマト、しらすなどです。